

# 生徒の主体性を育む教育の実現に向けて

変化の激しい時代を自分らしく、豊かに生きていくために

# 「プラスからさらなるプラス」へ

さらなる成長を目指して

- ・自分で判断し、行動しようとする力
- ・失敗を恐れずに挑戦する姿勢

(学校評価アンケートから見えた課題)

## Great (Future)

## Good (Current)

本校の様子

落ち着いた学習環境で、  
生徒が学習や様々な活動に前向きに  
取り組んでいます。

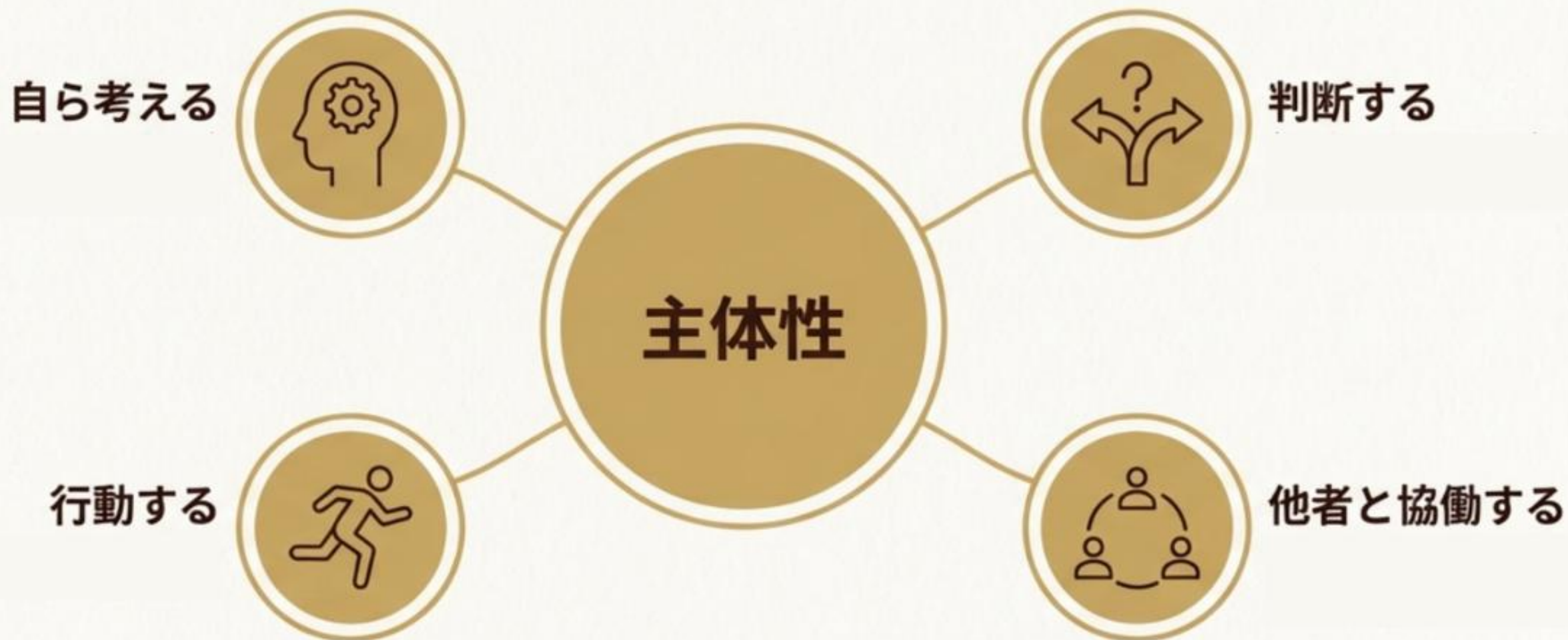
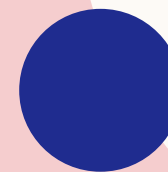
変化の激しい未来を生き抜くために、  
今の良さを土台にさらなる高みを  
目指します。

# 目指す生徒の姿

## 未来を見据え、自ら考え、 判断し、行動する生徒

1. 自分の良さや可能性を認め、主体的に活動する生徒
2. 失敗を恐れず、勇気をもって未知なるものに挑戦する生徒
3. 互いの個性や多様性を認め、他者と協働する生徒

# これからの時代に必要となる「主体性」とは



これからの時代に必要となる「主体性」とは

決まっていることに、取り組む から、

どうするかを自分で考えて、取り組む へ



「何をすればいいですか？」  
ではなく、  
「何をしたいか」へ

これからの時代に必要となる「主体性」とは

機会を与えられるのを待つ ではなく、

機会を自分で見つける へ



「誰かが」から  
「自分が」へ

これからの時代に必要となる「主体性」とは

自分勝手 ではなく、自主・自律 へ



### 自主・自律

自分で考え、的確に判断し、自制心をもって自律的に行動すること。  
より高い目標の実現に向けて計画を立て根気強く努力すること。



「主体性」を育む取り組みは、ゼロからのスタートではありません

これまでに、あらゆる教育活動を通して  
「主体性」を育んできました



毎日の授業



学級・学年の活動



学校行事・部活動

# これからの時代に必要となる「主体性」とは

学習活動：生徒が主役の学び

## 「教わる」から「学ぶ」へ

各教科における単元のまとまりを意識したカリキュラムづくり  
総合的な学習の時間における探究

特別活動：生徒が創る活動



## 創り上げる経験

生徒がねらいを  
意識して活動を計画

## 成長を可視化

キャリアパスポートの  
活用

## 「守る」から「考える」へ

TPOを意識して  
判断する機会を

# 生徒の活動に寄り添うのが先生方の役割

変わらない土台：安心・安全を守る指導

- ・自分勝手な行動にはNOを
- ・社会に出るうえで必要な常識を教えることも必要

これからの姿：自立を支える新しい支援

- ・教師は生徒の「伴走者」
- ・学校生活の基盤である**学級活動**も多角的に支える  
→チーム担任制

# 主体性を育むためのチーム担任制

## これまでの学級担任制

- ・担任が学年・学級の在り方を伝え、導く
- ・決められたことをする
- ・困ったことは担任に相談する

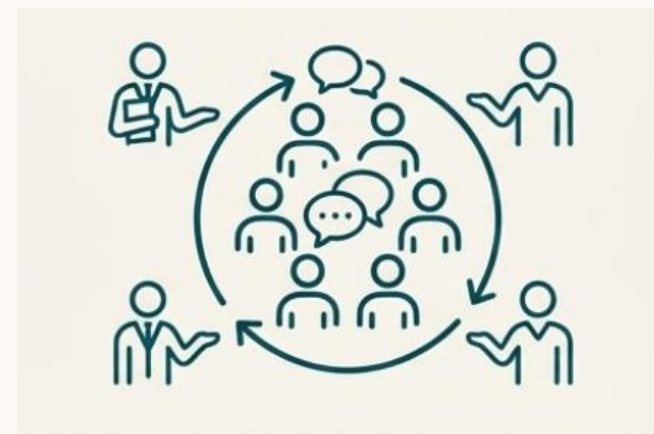


# 主体性を育むためのチーム担任制

## これからのチーム担任制

- ・生徒が学年・学級の在り方を考える
- ・自分たちで学級のこと、活動のやり方を決める
- ・誰に相談するのか自分で決める

**「生徒が」**を大切にします



# ● 主体性を育むためのチーム担任制

## 教師の関わりは？

- ・生徒が学年・学級の在り方を考える
- ・自分たちで学級のこと、活動のやり方を決める
- ・誰に相談するのか自分で決める



- ・目的やゴールを示す
- ・活動を見守る
- ・一緒に振り返る
- ・迷ったときには一緒に悩む
  
- ・いつでも誰でも受け入れる体制づくり  
(深い生徒理解、情報共有)

# チーム担任制の仕組み

特定の学級担任はいません。  
学年の教員全員が  
交替で学級に入ります。



# チーム担任制の仕組み

## MT（メインティーチャー）

学級で生徒と一緒に活動

主に朝の会、給食、帰りの会、清掃の時間に生徒と関わります。

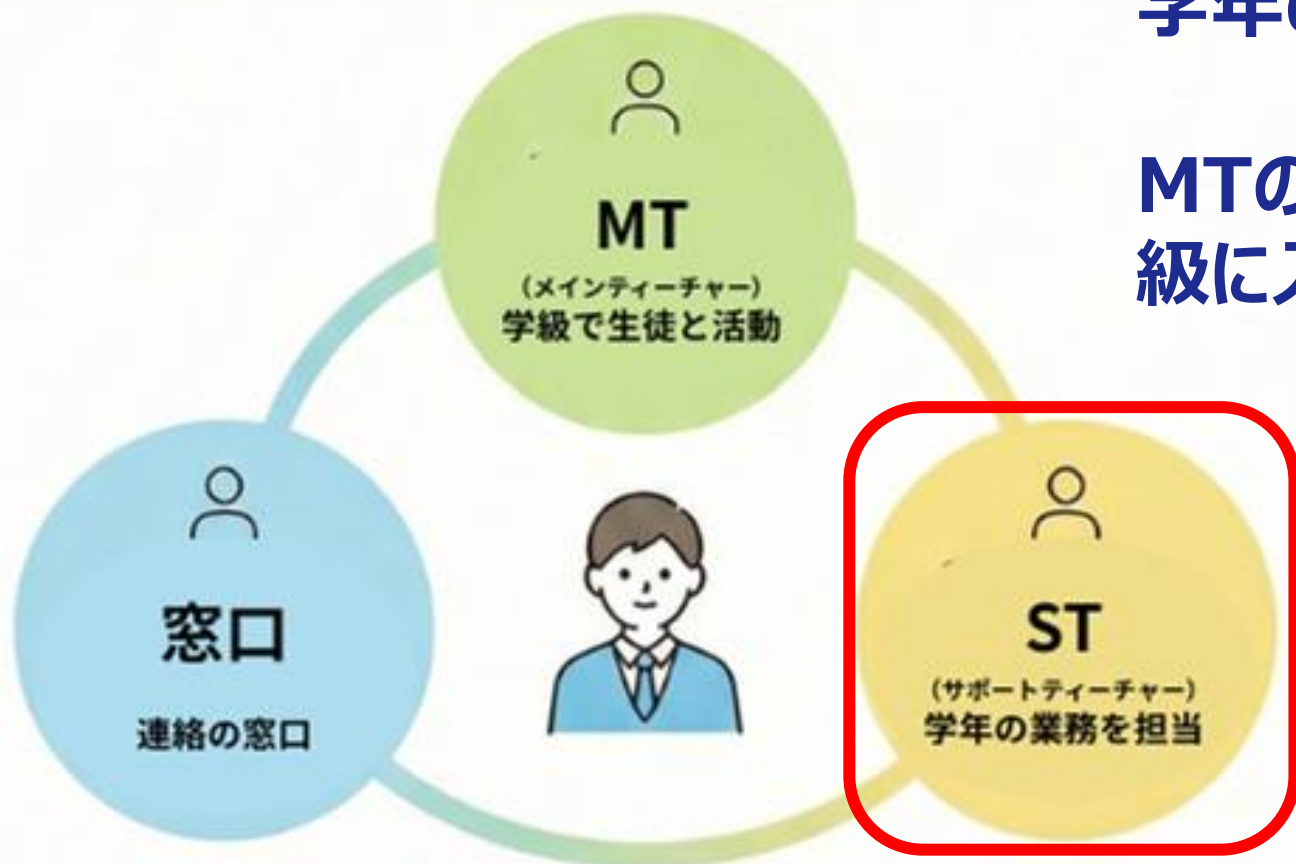


# チーム担任制の仕組み

## ST（サポートティーチャー）

学年の業務を担当

MTの業務をサポートしたり、MTが学級に入れられない場合に代わりを務めます。



# MT、STのローテーション例

最長を1週間として、学年の教員が交替で担当します。  
1日交替、3日交替など、時期によって、ねらいに応じて  
交替の期間を決めます。



	1組MT	2組MT	ST
○月○日～△日	A先生	B先生	C先生、D先生
○月□日～×日	B先生	C先生	D先生、A先生

# 担任がいなくて、こんなときはどうするの？

ちょっとした連絡、  
誰に伝えればいいの？

懇談は誰が  
担当するの？

学習・生活、進路の  
相談は誰にするの？



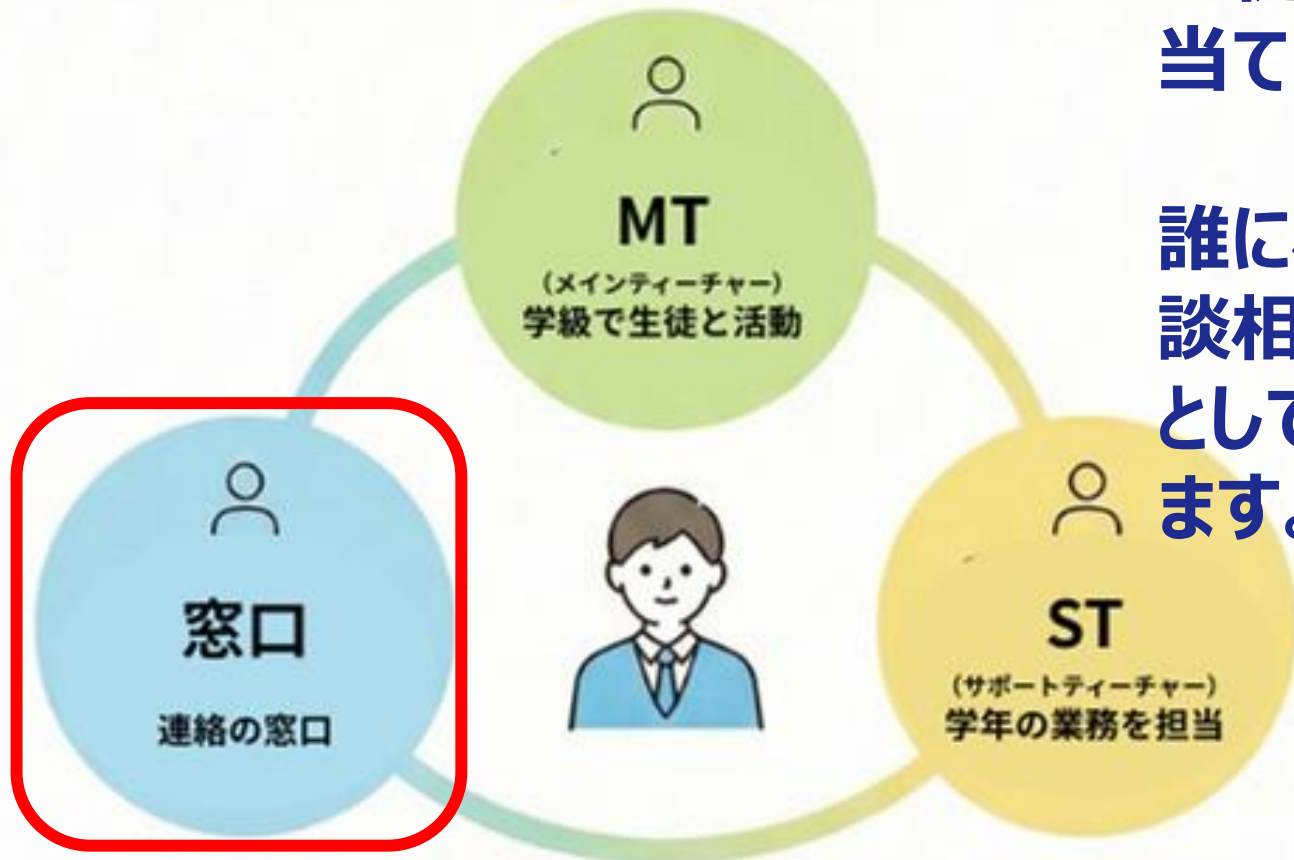
誰でもいいって言われても……？

# チーム担任制の仕組み

## 窓口

生徒1人1人に窓口の先生を割り当てます。

誰に相談したらいいか迷ったときの相談相手として、家庭からの連絡窓口として、困ったときに頼れる存在になります。



# 必ず窓口の先生に相談するの？



この先生に話したい！



希望する先生に声をかけてください。



誰に話そうか迷う…



窓口の先生やMTを頼ってください。

# 担任がいなくて、こんなときはどうするの？

## 教育相談・懇談は誰が担当するの？

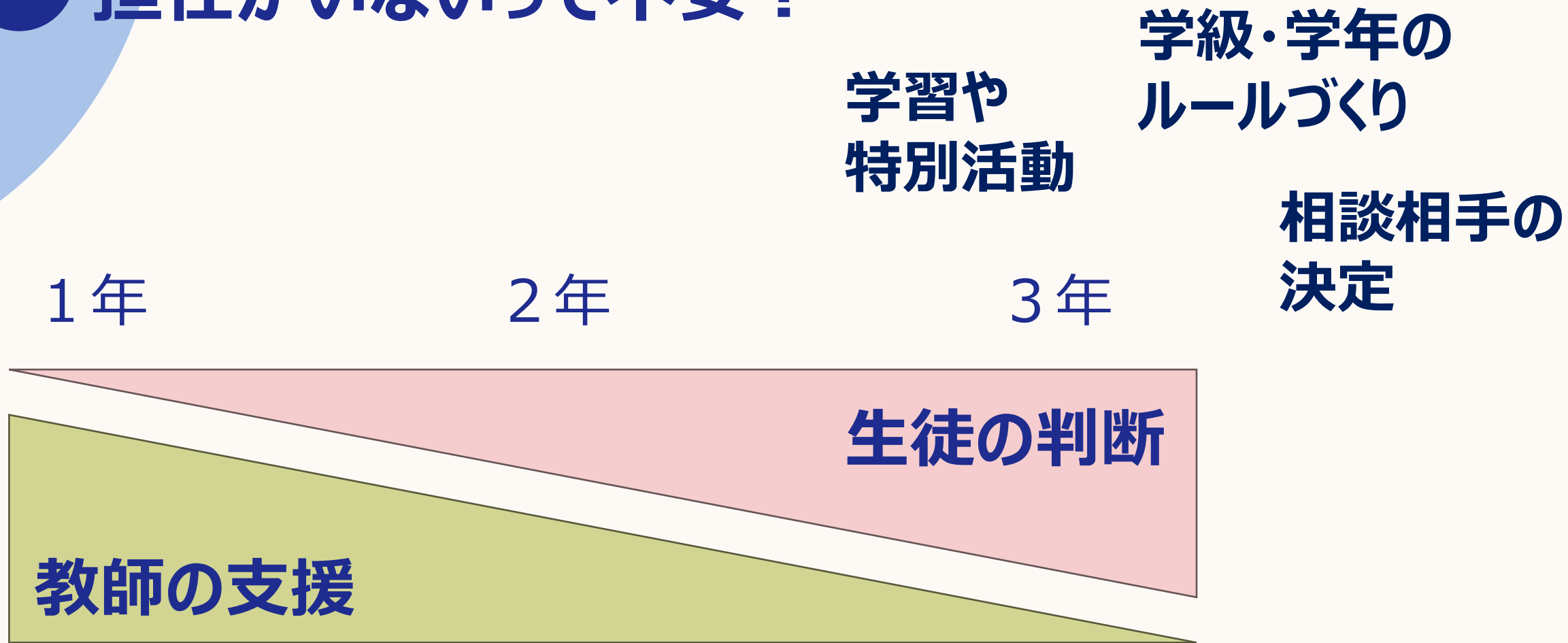
基本的には窓口の先生が担当します

ですが、普段の相談事と同じように別の先生を希望することもできます。生徒と行う教育相談の前に担当者を確認する機会を設け、その先生と教育相談・懇談を行います。

＜進路の不安に寄り添うために＞

教育相談・懇談を担当した教員が、進路相談も担当します。

# ● 担任がいなくて不安？



**発達段階に応じた働きかけを行います**

# 生徒が安心できる環境で、 生徒の挑戦を支え、主体性を育みます。

## 挑戦と支援のバランス

**挑戦**

主体的に  
行動する

**支援**

子どもの主体性を  
尊重する

**安心・安全**

チームによる見守りと情報共有  
環境整備